

東京2020大会を体感
Japan National Stadium

国立競技場

視察 探索

普段は入れない選手ロッカー内や、

インタビューゾーンなどの見学が可能です！

リレーマラソンのコースでもあるリングロードには

オリンピック選手のサインが飾られています。

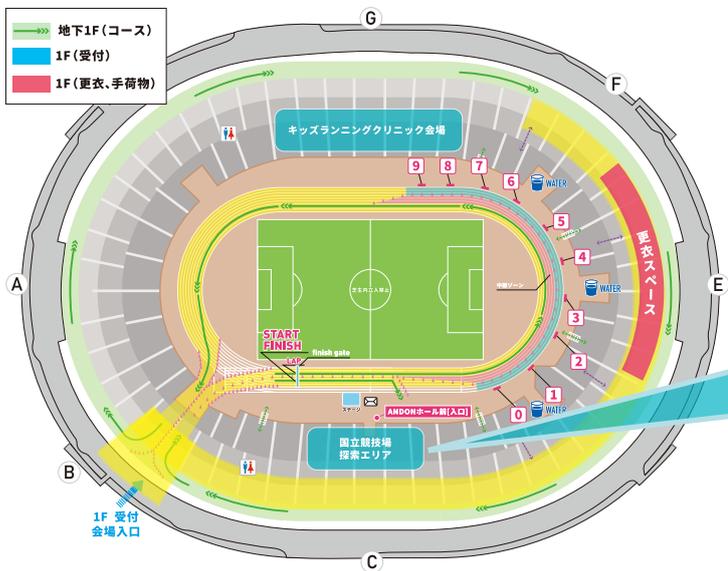
この機会にぜひ夢の「国立」を体験ください。



概要

■開催時間:8:00~13:00(最終入場:12:30) ■所要時間:約30分

■Bゲートで受付終了後、会場までお越しください。ANDONホール前が入口となります。



1 フラッシュインタビューゾーン



フラッシュインタビューゾーンは、選手や監督へ取材を行う際に使用されるインタビュースポットです。天井には建築家である隈研吾氏デザインの行燈をイメージした照明が設置されており、「ANDONホール」とも呼ばれています。

2 選手ロッカールーム



選手更衣室内のロッカーをはじめ、競技場内部にも木の質感が感じられる仕上げを施すことで、温かみのある空間に包み込まれ、日本らしさを感じることができます。更衣室は、チームの一体感がより高まる楕円形の空間となっております。

3 東京2020大会 聖火リレートーチ



素材の一部に東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用して作られた、復興への想いと持続可能性への配慮の意味が込められた聖火リレートーチです。桜の花びらをモチーフにデザインされています。

4 サインウォール



東京2020大会陸上競技参加選手が書き残していったサイン壁です。世界中のアスリートのサインは約300にも及びます。サインと共に大会への出場に対する意気込みや、祖国や日本への想いを込めたメッセージが残されています。

5 東京2020大会表彰台



オリンピック・パラリンピック大会史上初の再生プラスチックを使用して製作されました。側面のデザインは、大会エンブレムを手掛けた野老朝雄氏が担当し、最先端の3Dプリント技術を活用して製作したパネルを使用しています。

6 記者会見室



160㎡の広さがあり、映像・音響設備を完備している記者会見室。記者会見はもちろん、100名規模の試写会や講演会、企業の新製品発表会など多目的に利用されています。

7 ウォームアップゾーン



選手が試合前にウォーミングアップを行うエリアです。人工芝が敷き詰められており、試合に近い環境でウォーミングアップができるように配慮されています。移動がしやすいようにロッカールームと繋がっています。

